

8 人のたんじょう 資料調べ1

5年 組 名前 ()

女性の体内でつくられた卵は、男性の精子と結びつく（受精する）と、受精卵になって、育ち始めます。

【見つけよう】

比べよう 人の受精卵と子が生まれるころとを比べて、不思議に思ったことを書きましょう。

メダカはたまごの中が変化して、メダカの子がかえったね。



人の受精卵はとても小さいけれど、

赤ちゃんが生まれるころのお母さんは、おなかが大きくなっている。

【はてな？】

問題 人の受精卵は、母親の体の中で、どのように育って生まれてくるのだろうか。

【予想を書こう】 人の受精卵が母親の体内でどのように育って生まれてくるのかを予想しましょう。

受精卵が少しずつ変化して人の子になると思う。

(理由) 受精したメダカのたまごは、中がだんだんとメダカらしいすがたに変化して、メダカの子がかえったから。

【資料調べの計画を書こう】 人の受精卵の育ち方について、自分の予想を確かめる方法を考えましょう。

〈調べるテーマ〉

(例) 受精卵の変化について

〈方法〉

(例) ①図書室や図書館で、人に関するずかんなどを使って調べる。 ②調べたことをポスターにまとめて、発表できるようにする。

調べるテーマと調べる方法を決めて書こう。



【資料調べ1】

人の受精卵が母親の体内で育つ様子を調べよう。

【結果を書こう】

人の受精卵が母親の体内で育つ様子について、調べたことをかきましよう。(図や言葉で)

(例)



4 週後…どう体と頭が区別できるようになり、心ぞうが動き始める。

8 週後…顔の作りがはっきりしてくる。手足が発達して体が動き始める。

16 週後…鼻や目、耳の感覚が発達する。性別が区別できるようになる。

24 週後…指をにぎったり開いたり、自分の意思で体を動かせるようになる。

36 週後…いつ生まれてもよい体になり、大きく動くことが少なくなる。

【結果からわかった問題の答えを書こう】

結ろん 人の受精卵は、母親の体内で、約38週かけて、だんだんと人のすがたに育ち、子として生まれてくる。体内では、たいばんを通して、母親から養分などを取り入れ、不要なものを送り出している。